

(3) 2014.4 **ふじさと**

することを目標として断行するとしたものです。本年6月を目前に、「農林水産業・地域の活力創造プラン」の見直しを行い、平成27年3月の閣議決定を目指し、1月から「食料・農業・農村政策審議会」でプランの検討が始まりました。並行して、東北農政局では、昨年10月から県単位で各市町村長との意見交換会を開催しており、昨年12月13日には、当町で意見交換会が開催され、また2月25日には、東北農政局との2回目の市町村長意見交換会が開催されました。当町は、中山間地域に配慮した施策の拡充を求めるとともに、同プランの策定について急速な改革がなされないよう要望しました。次に、町は平成23年度から農林業の所得を確保するため、水稲とともに収益性の高い野菜・花卉、畜産などによる複合経営確立のため、藤里町農林業振興特別対策を実施し農業者の向上を図ってきました。この間、農業を取巻く情勢に乱高下がありました。経営規模拡大を目指す農家への農業生産機械等の整備に対する支援や振興作目としてリンドウ栽培に取組む生産者に対する支援などにより、一定の成果があったものと判断しています。本対策は、平成25年度が最終年度ですが、秋田県は「ふるさと秋田元気創造プラン」を第2期対策として継続するとしており、当町でも振興作物の作付け拡大のために本事業は欠かせないものであり、小規模圃場整備事業に対する県補助も復活するなど、町農林業振興特別対策事業で活かされていなかった部分も実現の可能性がでてきたことから、農家の意向を把握

して事業を継続していきたいと考えております。

◇◇◇ まちづくり計画について

当町は、平成15年4月に単独立町を宣言、10年を経過、平成25年11月町制施行50周年を迎えたところですが、町の総合振興計画の計画期間が満了を迎え、新たな向こう10カ年の計画として「持続可能な町・ふじさと」の実現のため、その基本的な方向を示すものとして「藤里町まちづくり計画」を策定しました。

一般会計当初予算

◇◇◇ 歳入 ◇◇◇

町税 個人町民税について、防災施策に要する財源確保のための町・県それぞれ均等割500円引き上げで増額が見込まれるものの、米価の下落等から所得割の減少を見込み、前年度比3・7%の減を計上。固定資産税は、前年度実績額に評価額の減少などを勘案し、0・2%の減を計上。軽自動車税は、前年度並を計上。たばこ税・入湯税については前年度実績を勘案して計上

普通交付税 地方財政計画や前年度交付見込み等を考慮し、16億9,600万円を計上

分担金・負担金 高齢者施設入所費負担金、火葬場運営費負担金の増により、総体では7・4%の増を計上

使用料・手数料 保育園使用料、墓地永代使用料、牛放牧料が増となったものの、歯科診療所収入、道路占用料、幼稚園使

用料、スキー場使用料の減、羊肉販売手数料の減が要因となり、総体では1・3%の減額計上

国庫支出金 子育て支援交付金が皆減となったものの、臨時福祉給付金事業補助金、子育て世帯臨時特別給付金事業費補助金の皆増等があり、35・4%の増

県支出金 いくつか皆減となった補助金があるものの、子どもの国づくり交付金、未来づくり交付金、安心子ども基金事業補助金、農林業センサス交付金、秋田県議会議員選挙費委託金を新規分として計上し、総体では5・0%の増

財産収入 綿羊生肉販売収入の増等により21・6%の増

繰入金 普通建設事業費等に充てるための各基金からの繰入で36・0%の増

繰越金 前年度と同額の計上

諸収入 オータムジャンボ宝くじ交付金、市町村振興助成金等を計上。中小企業預託返済金の増により、2・1%の増

町債 一の渡2号線道路改良事業、ハンドガイド除雪機購入事業、防火水槽新設事業、黒石橋補修調査設計事業を新規で計上し、総体で92・4%の増

◇◇◇ 性質別歳出 ◇◇◇

人件費 職員の昇給・昇格等により総体で566万2千円(0・9%)の増

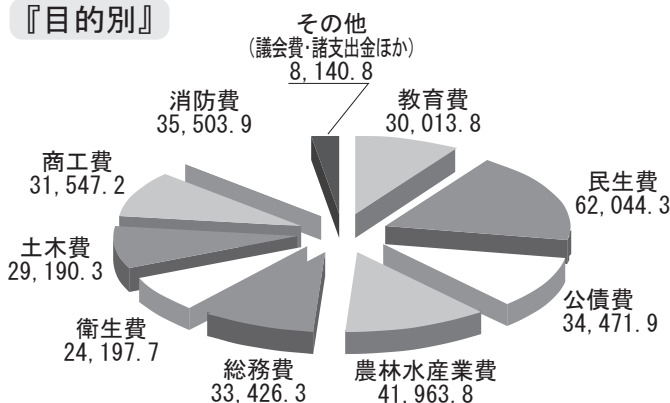
物件費 庁舎クライアントPCリース料、素波里園地再生整備工事実施設計業務委託料、国民文化祭設置・撤去費委託料等が増となったものの、後期高齢システム更新委託料、町制施行50周年記念事業経費の皆減により、総体で599万7千円

【予算規模：33億500万円】

(単位：万円)

歳出のグラフ (左…目的別、右…性質別)

『目的別』



『性質別』

